香川県ナースセンターニュース

第57号
平成28年10月20日

公益社団法人 香川県看護協会香川県ナースセンター　発行責任者／中村　明美

ナースパワーで働こう!

ブランクがあるから受けておきたい 看護力再開発講習会

「以前習得した知識や技術を忘れていそう…」「職場を離れている間に入った新しい医療機器に対応できるか心配…」そんな不安をもっているのは、あなただけではありません!そんな不安を少しでも解消するために、復職する前、一緒に復職支援のための講習を受講してみませんか

お知り合いの方にも教えてあげてくださいね!

～ 今 後 の 開 催 予 定 ～

	東讃地域 県立白鳥病院（東かがわ市）	西讃地域 三豊総合病院（観音寺市）	香川県看護協会 看護研修センター（国分寺町）
場所			
日時	※平成28年11月下旬予定	平成28年11月7日～11日	平成29年1月13日 ～2月10日のうち7日間
内容	① 講義：看護の動向、医療安全、感染管理、看護技術など　② 実習：地域の病院		

※決定次第、香川県看護協会HPにアップします。参加ご希望の方は香川県ナースセンターにお問い合わせください。

第1回看護力再開発講習会参加者の声

【受講前アンケート（講習会参加理由）】

◆現在の職場では医療行為は殆どしていないが、症状に対するアセスメントや褥瘡予防、処置をしなければならない状態。しかし、経験・知識不足、ブランクがあり不安。また将来的には医療現場に戻ろうかとも悩んでいた。
◆勤務年数が短いということとブランクがあった。看護師として復職することに不安が強かった。
◆臨床から離れて10年以上経っており、最近の医療や看護の動向を知りたいと思った。また、看護技術の再確認や以前と変化している点などを学び、再就職に繋げたいと思った。

【受講後アンケート】

◆とにかくブランクが長く、医療・看護の変化や技術面についてわからないことが多く、不安が強くありました。実際に実習にも行き、以前に病棟勤務していた感覚を思い出すことができました。また講習で学んだことを目にすることで変化に驚くこともたくさんありましたが、更に学んでみたいという気持ちが強くなりました。
◆受講する前は不安が強く、看護師として仕事復帰することができるのかと思っていましたが、受講するにつれて、看護師として働きたいし技術面や知識も深めたいと強く思うようになり、できれば病棟で働きたいなと思いました。
◆講師の方々が素晴らしかったです。授業がとてもよく、久々に勉強させて頂きました。また受けたいと思いました。今回の全ての講習を通じて、看護師の免許を持っているならば、現場に出て働かないと免許取得の意味がないように思いました。

独立行政法人　労働者健康安全機構

香川労災病院

日本一の石垣のある丸亀城の近くに位置する香川労災病院は、昭和31年に労働災害への適切な医療提供体制づくりの一環として創設されました。現在では、がん診療拠点病院であると共にDMAT指定病院としても活動し、急性期から地域医療の分野まで幅広く活動しています。近隣の医療施設や訪問看護ステーションと連携し「地域が一つの医療機関」として「つぎ目のない医療」を実践し地域の人々に親しまれています。

看護部は、**「地域や社会のみなさま一人ひとりに信頼される看護を行います」**という理念のもと、ふれ合いを大切に「信頼・納得」していただけるケアの提供のため働きやすい職場づくりに取り組んでいます。看護部長へのインタビューで印象的だったのが**「教育プログラムを活かし、タイミングを見て直接声をかける」**という細やかな気配りでした。新人看護師は、集合研修や一人ひとりに合わせた部署ごとの教育プログラムによって、10月の夜勤自立を目標にしています。そしてプリセプターや、チューターが寄り添い力強くサポートしています。中途採用者に対しても、担当看護師がパートナーとなり知識や技術面の指導や相談がしやすいようにしています。子育て支援として**育児休業後は、育児と仕事の両立を考慮して元の部署への復帰**が基本です。**「かめっこ」保育園**も設置され、外来勤務などで**時短勤務**の選択や、**子の看護休暇**などにより、育児中も安心して就業できる体制があります。キャリアアップとしては**クリニカルラダー**による学びの機会があります。19名の認定看護師・専門看護師による専門コースやマネジメントコースの研修プログラムはモチベーションアップにかなり役立っていると聴きました。また誰もが研修会や学会に参加できるように研修費の支援も設けられています。全国組織である強みを生かし、派遣交流で他の労災病院へ退職せずに異動することもできます。看護部長の優しく穏やかなまなざしに、暖かな人間味を感じることができました。一人ひとりに寄り添う関係があるからこそ、**看護師がいきいきとやりがいを持って働き続けられる病院**であると感じました。

■病床数:404床(一般病棟、ICU8床、HCU8床)
■入院基本料:7:1
■看護職員数:看護師411名(男性看護師:50名)平均年齢:35.1歳
■離職率:5.5%(新人3%)

■看護副部長 ■看護部長 ■看護副部長

■かめっこ保育所

■病院外観

小豆島中央病院

人口3万人の風光明媚な小豆島。明るい木目とオリーブをモチーフに取り入れ、開放されたエントランスに迎えられ、取材は始まりました。そこは、平成28年4月に土庄中央病院と内海病院が統合され、新規開設された小豆島中央病院です。小豆島中央病院は、「地域の皆さんに寄り添う病院として期待され、親しまれ、信頼される中核病院」をめざしています。

看護部は、小豆島の地域住民が、最期まで住み続けられる地域包括ケアの提供を目指し、住民の皆様に寄り添い、医療・介護・健康福祉の最後の砦としての大切な役割を果たしています。そして、風土の違う職場の融合により、その利点を最大限に活用することで、活力あふれる新しい組織作りをされています。また、看護部の理念**「私達は、地域医療の担い手として、優しく暖かい心で地域住民に信頼される看護ケアの実践に努めます」**を掲げ、日々ケアを実践されています。看護師定着のために取り組まれていることは、**「多様な勤務形態の導入」「育児支援」「勤務場所の配属考慮」「教育体制」「クリニカルラダーシステム導入準備」「認定資格に関する取得支援」「勤務体制」「福利厚生」**などです。特に印象に残ったのが、**「病児・病後児保育室」**です。病院スタッフ、地域住民の方々の働く子育て世代には、安心して働くことのできる強力なサポート体制といえるでしょう。また、小豆島のナースサポートセンターでは、有資格者(最高年齢80歳以上)130名の方が登録されており、病院総合案内係りなどをして、病院のために支援されています。また、「訪問看護を自分の育った小豆島でやりたい!」と地元に帰り、復職された訪問看護認定看護師さんの熱い思いをお聞きすることができました。看護部長さんの優しい笑顔が印象的で日ごろからスタッフとの関係を大切にしている様子もうかがえました。新しい病院で、今まで培ってきた看護、二つの病院が融合したことによる新しい看護に注目し、地域に根ざした病院としてご活躍されることを期待しています。

■病床数:234床
■入院基本料:10対1(一般病棟4病棟194床)　25対1(医療型療養病棟1病棟40床)
■看護職員数:201名 平均年齢:43.6歳　■離職率:3%以下

■外観

■看護部

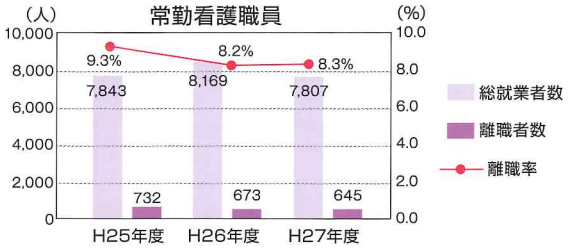
■1階ふれあい広場

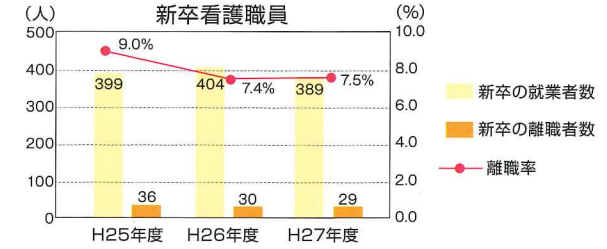
平成28年度 看護職員 確保状況 調査結果

① 平成27年度の常勤看護職員の離職状況

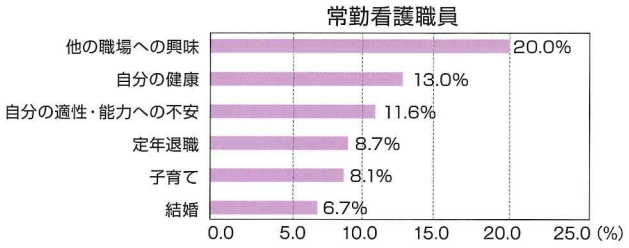
調査対象：県内病院89施設　回収数：79施設　調査期間：平成28年7月～8月

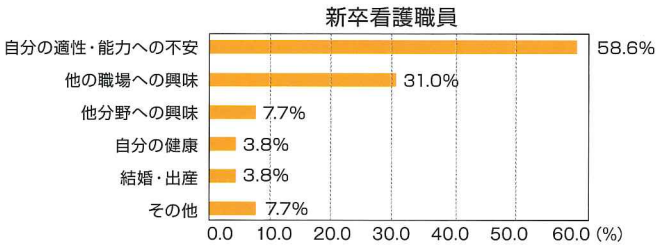
①常勤看護職員の離職率推移





②離職理由





② 育児・介護支援、及びその他の取り組み（●：既に実施している、▲：検討中）

地区	病院名＼取り組み	院内託児室の設置	学童保育所の設置	夜間保育室の設置	病後児保育室の設置	院内託児室の設置	育児費用補助	育児・介護休暇からの復帰支援	医療安全対策の充実	中途採用者の研修体制の充実	職場の暴力対策・相談体制の充実	メンタルヘルス相談体制の充実	給与・諸手当の改善
東讃	香川県立白鳥病院							▲	●	●	●	●	
	さぬき市民病院	●			●	●		●	●	●	●	●	●
	岡病院								●		●	●	
	太田病院		●						●	▲	●	●	▲
	阪本病院	●							●	●	●	●	▲
高松	国立療養所 大島青松園						●	●	●	●	●	●	●
	高松医療センター	●		●			●	●	●	●	●	●	
	香川県立中央病院			●	▲	▲		●	●	▲	●	●	▲
	かがわ総合リハビリテーション病院	●		●				▲	●	●	●	▲	▲
	高松市民病院							●	●	●	●	●	
	高松市民病院塩江分院								●		●	●	
	高松赤十字病院	●		●	●		●	●	●	●	●	●	●
	香川県済生会病院	●	▲	▲	▲	▲	▲	●	●	●	▲	▲	●
	屋島総合病院	●			●			●	●	●	●	●	●
	りつりん病院	●		●			▲	▲	●	▲	▲	▲	▲
	ＫＫＲ高松病院	●						●	●	●	●	●	●
	大西病院							●	●	▲	●	●	●
	三宅リハビリテーション病院	●			▲		●		●	●	▲	▲	▲
	前田病院							●	●	●	●	●	●
	キナシ大林病院	●					▲	▲	●	●	●	▲	●
	木太三宅病院							●	●	▲	●	●	▲
	おさか脳神経外科病院						●	●	●	●	●	●	
	百石病院							●	●	▲	▲	▲	●
	ルカ病院						●	●	●				
	ミタニ藤田病院								●	▲	●	●	▲
	伊達病院							▲	●	▲			
	広瀬病院						●	●	●	●	●	●	●
	馬場病院								●	●	●	●	●
	高松協同病院	●		●	●	●			●	●	▲	●	
	クワヤ病院						●	●	●	●	●	●	●
	高松平和病院	●	▲	●	●	●		●	●	●	●	●	▲
	斉藤病院							●	●	●			●
	整形外科 吉峰病院								●	●			▲
	マオカ病院							●	●	●	▲	●	●
	いわき病院	●	●	▲		▲	▲	▲	●	▲	●	●	●
	三光病院								●	●	●	●	▲
	オサカ病院								●	●	●	●	▲
	香川大学医学部附属病院			●	●	●			●	●	●	●	▲
	松原病院	●			●	●			●	●	●	●	▲
	樫村病院								●	●	▲	●	▲

地区	病院名＼取り組み	院内託児室の設置	学童保育所の設置	夜間保育室の設置	病後児保育室の設置	院内託児室の設置	育児費用補助	育児・介護休暇からの復帰支援	医療安全対策の充実	中途採用者の研修体制の充実	職場の暴力対策・相談体制の充実	メンタルヘルス相談体制の充実	給与・諸手当の改善
中讃	香川労災病院	●						●	●	●	●	●	
	香川県立丸亀病院							▲	●	●	●	●	
	麻田総合病院	●	●	●	▲	▲	▲	▲	●	▲	●	●	▲
	三船病院						●		●	●	●	●	
	吉田病院							●	●	●	●	●	●
	しおかぜ病院								●		●	●	
	河内病院								●		●	●	▲
	西紋病院							▲	●	●	●	●	▲
	丸亀林病院							●	●	●	●	●	●
	厚仁病院								●	▲	▲	▲	●
	加藤病院	▲	▲	▲				●	●	●	●	●	●
	篠原記念病院								●	●	●	●	●
	宮野病院							●	●	●	●		●
	坂出市立病院						●	▲	●	●	●	●	●
	回生病院	●			●			●	●	●	●	●	●
	赤沢病院							●	●	●	●	●	●
	坂出聖マルチン病院	▲				▲	▲	●	●	▲	●	●	●
	西山脳神経外科病院								▲	▲			
	宇多津病院								●	●		▲	
	四国こどもとおとなの医療センター			●	●			●	●	●	●	●	●
	陶病院				●	●			●	●	●	●	
	滝宮総合病院	●		▲				●	●	●	●	●	●
	岩佐病院							▲	●	▲	▲	●	▲
	永生病院	●	●	●				●	●	●	●	●	▲
	おおにし病院								●	●	●	▲	▲
	善通寺前田病院	●						●	●	●	●	●	▲
西讃	三豊市立西香川病院	●							●	●	●	●	
	三豊市立永康病院							▲	●	●	▲	●	▲
	三豊総合病院	●		●	●	●		●	●	●	●	●	▲
	河田病院						●	▲	●			▲	▲
	清水病院							●	●	●	●	●	●
	松井病院	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	●	●	▲	▲	▲
	白井病院	●		●				●	●	●	●	●	●
	細川病院								●	●	●	●	▲
	岩崎病院						●	●		●			●
	橋本病院	●							●	●	●	●	
	香川井下病院	●	●					●	●	●	●	●	●
	森川整形外科病院								●	▲	▲	▲	▲

まとめ

○病院の規模や設置主体など環境によって違いはありますが、託児所の設置や費用の補助などの育児支援、中途採用者の研修体制の充実など教育支援についてさまざまな配慮や対策を講じているとうかがえます。

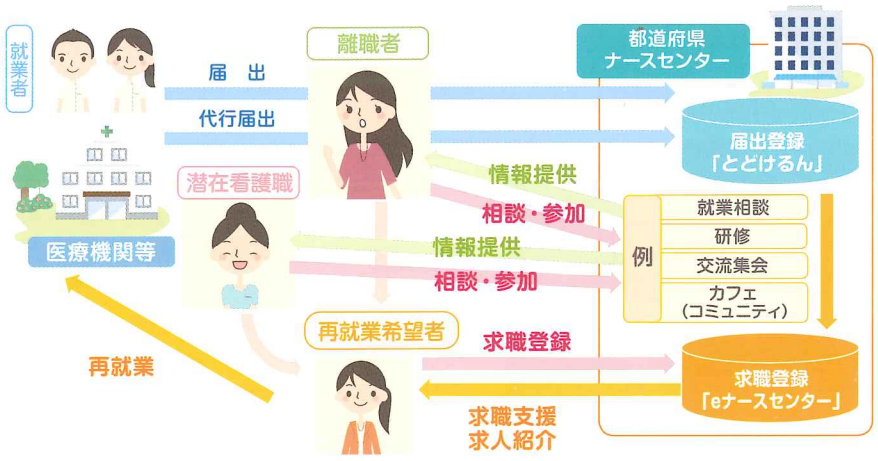
○離職状況から、常勤及び新卒看護職の離職率は前年度に比べ、若干上昇しています。常勤者の離職理由は、「他の職場への興味」や「自分の健康」、「自分の適性･能力への不安」が昨年度と同様に上位を占めていました。また、新卒者の離職理由も「自分の適性･能力への不安」がトップで、新卒の離職者のうち、65%が入職して6か月から1年未満に離職しています。

離職時等の届出制度とは

◆届出制度※ とは、保健師・助産師・看護師・准看護師の免許を持ちながら、その仕事に就いていない方に、氏名や連絡先などを都道府県ナースセンターへ届け出ていただく制度です。都道府県ナースセンターは、届出情報をもとに離職中の看護師等の方とつながりを持ち、それぞれの状況に応じて、復職に向けた研修、無料の職業紹介、相談員によるアドバイスや情報提供等の支援を行います。

※「看護師等の人材確保の促進に関する法律」が改正され、平成27年10月1日から施行されました(届出は努力義務)。

ナースセンターによる支援体制



看護師等の届出サイト とどけるん

スマートフォンやパソコンからインターネット上で「とどけるん」から届出を行うことができます。登録後ログインすると、全国のナースセンターの情報や復職等に関する届出者向けの情報コンテンツを利用していただくことができます。

https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/

とどけるん PC&スマホ

届出のタイミング(対象者)
■病院等を離職した場合(病院等:病院、診療所、助産所、介護老人保健施設、指定訪問看護事業を行う事業所)
■保健師、助産師、看護師、准看護師の業に従事しなくなった場合
■免許取得後、直ちに就業しない場合■現在、業務に従事していない場合

届出方法
スマートフォンやパソコンから、看護師等の届出サイト「とどけるん」に届出事項を入力してください。インターネット利用環境がない方は、書面での届出も可能です。お近くの都道府県ナースセンターへお問い合わせください。離職時に、離職する施設が代行して届出を行う場合があります。

eナースセンターにも同時に登録できます
届出の際に、eナースセンターへの登録を希望すると、離職時等の届出だけでなく、求職登録も同時に行うことができます。

香川県届出状況(9月末現在)

総計(人) 226	資格別届出状況(人)	保健師	52
		助産師	10
		看護師	198
		准看護師	51

ナースバンク・サテライト相談のお知らせ

ナースセンター相談員が、あなたの街のハローワークに出向きます。

			10月	11月	12月	1月	2月	3月
ハローワーク高松	第1・3火曜日	13:00~16:00	4・18日	1・15日	6・20日	17日	7・21日	7・21日
ハローワーク丸亀	第2木曜日	10:00~16:00	13日	10日	8日	12日	9日	9日
ハローワーク観音寺	第4木曜日	10:00~16:00	27日	24日	22日	26日	23日	23日

(祝日は休み)

就職支援コーディネーターを紹介します。

復職や就業などをお考えの看護職の皆様!
ハローワークでのサテライト相談、ナースセンターでの相談、届出制度等を通じて、期待に応えられるよう就業支援に務めます。

高松担当の福岡です。東讃・高松市や学校・養成所での就業をお考えの方、具体的な情報をお伝えし、再就業の手助けになるよう務めています。気軽にお声をかけてください。

中讃地域担当の辻です。再就業された方から元気を頂き、これから就業を考えている方に元気を送りながら、今までの経験を踏まえご支援いたします。

4月から西讃地域を担当している加藤です。一人ひとりの思いを大切に、就業に向け共に考えていきたいと思っていますので、皆様の来所をお待ちしています。

公益社団法人 香川県看護協会 香川県ナースセンター

曜日	月~土曜日(祝日・年末年始除く)
時間	9:00~16:00
場所	〒769-0102 高松市国分寺町国分152-4 公益社団法人 香川県看護協会 看護研修センター 2階
電話	087-864-9075
FAX	087-864-9071
E-mail	kagawa@nurse-center.net
HP	http://kagawa-kango.com

●香川県ナースセンターは香川県の委託を受けて(公社)香川県看護協会が実施しています。

JR予讃線・土讃線にて「高松駅」より11分、「坂出駅」より10分→「端岡駅」下車徒歩20分